

令和 4 年度の実業報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人灯す屋

1 事業の成果

令和 4 年度は当団体のビジョンである「一人ひとりがおもしろい未来を描ける社会」の実現を目指して、様々な事業に取り組んだ。実施した事業は以下のとおりである。

<空き物件の管理及び活用推進事業>

前年度に引き続き、「空き家マッチング事業」（有田町委託）では、空き物件の相談窓口の開設、空き物件インフォメーションの運用、空き物件見学ツアーの企画・運営を行った。

また自主事業としては、空き物件を活用した「灯すラボ実験室 A（以下、実験室 A）」及び「灯すラボ実験室 B（以下、実験室 B）」の運営・管理を行った。実験室 A は、コリビングスペース（他拠点居住者・中期滞在者向けのシェアハウス及びコワーキングスペースの機能を有する）として本格的な運営をスタートさせ、年間 12 名が利用した。実験室 B については、改修は行わず、当団体が月 1 回主催する交流イベント「うちやまポップアップ」及び「灯すラボポップアップ」の会場として使用した。また子供の居場所づくりの取り組みとして「灯すラボアフタースクール」（有田町委託・子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業）を週 2 回開催した他、大人の学びの場として「灯すラボライター講座」を実施した。このようなプログラムを実施することで、地域内外の人の交流や仲間づくりに貢献することができた。

11 月には有田町内山地区にて地域活性化イベント「うちやま百貨店」を開催した。14 の物件を活用し、18 の出店・企画を実施した。出店者には商品の販売のみならず、新しい取り組みや挑戦をしてもらうことで、それぞれが描く「おもしろい未来」を表現してもらった。

この他、本年度力を入れた事業は、地域で自分なりのおもしろさを見出し暮らしている人たちを紹介する「クリエイティブマガジン 灯すラボ」（ウェブサイト）の構築である。本事業は佐賀県の「さが自発のチャレンジモデル創出事業」の支援を受け実施した。11 月にサイトを開設し、12 本の記事を制作・公開した。

<移住・定住支援事業>

有田町の委託事業として「お試し住宅」の運営・管理を行った。令和 4 年 4 月から 11 月まで運営を行い、5 名が利用した。

<後継者育成支援事業>

ちゃわん最中の販売数を増加させ、有田町及び灯す屋の取り組みを広く知ってもらえるような取り組みを行った。月 1 回の定期販売、オンライン販売、ふるさと納税（有田町、灯す屋）、最中種の卸販売など、多様な販売形態を継続し、年間売上 811 万円を達成した。新聞・雑誌、ラジオ等で幅広い広報を行い、地域のクリエイターと撮影チームを結成し SNS で発信した他、県外で開催された 2 回の展示会に出展し、有田町及び灯す屋の PR を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 空き物件の管理及び活用推進事業	有田町空き物件活用推進ミーティングを定期的を実施した。	(A) 毎月 1 回 (B) 灯す屋事業所 (C) 各回 10 人	(D) 空き物件所有者、空き物件活用希望者 (E) 45 人	12465
	空き物件に関わる情報発信を実施した。また、相談窓口を開設した。(有田町委託)	(A) 週 5 日 (B) 灯す屋事業所 (C) 5 人	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 45 人	
	空き物件見学ツアーを実施した。(有田町委託)	(A) 年間 6 回 (B) 有田町内 (C) 2 人	(D) 空き物件活用希望者 (E) 30 人	
	空き物件(灯すラボ実験室 A/B、アリタスタートアップハウス)の運営・管理を行った。	(A) 通年 (B) 有田町内 (C) 2 人	(D) 灯すラボ利用者、移住(検討)者 (E) 12 人	
	空き物件(灯すラボ実験室 A/B)で、イベントや講座を開催した。	(A) 通年 (B) 有田内山地区 (C) 11 人	(D) 空き店舗所有者、出店者、町民等 (E) 280 人	
	空き店舗を活用したイベント(うちやま百貨店)を開催した。	(A) 11 月 (B) 有田町内 (C) 8 人	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 6000 人	
	灯すラボウェブを制作した。	(A) 11～3 月 (B) 灯す屋事業所 (C) 3 人	(D) 移住検討者等 (E) 23 人	
② 移住・定住支援事業	お試し住宅の管理運営を行った。(有田町委託)	(A) 4～11 月 (B) 有田町内 (C) 3 人	(D) 移住希望者 (E) 5 人	1013
	移住の相談窓口を開設した。	(A) 通年 (B) 有田町内 (C) 2 人	(D) 移住希望者 (E) 45 人	
	地域おこし協力隊の伴走支援を実施した。	(A) 毎月 1 回 (B) 有田町 (C) 2 人	(D) 佐賀県庁、地域おこし協力隊 (E) 2 人	

③後継者育成支援事業	ちやわん最中の販売及びイベント企画運営を実施した。	(A)通年 (B)灯す屋事務所 (C)6人	(D)町民、観光客、事業者 (E)10000人	14898
------------	---------------------------	-----------------------------	----------------------------	-------

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①物品販売事業	実施しなかった。	(A)－ (B)－ (C)－	－

※定款第5条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。
- 3 「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。